

第4回 世田谷区令和元年台風第19号に伴う浸水被害検証委員会 議事要旨

日時：令和2年9月29日（火曜日）9時30分から10時30分

場所：世田谷区役所 青葉橋材料試験室

議事要旨：

【検討結果】

（委員）

- ・ 早めの避難行動につなげる避難勧告について、判断基準より早く浸水が発生しており、浸水の発生をどう予測して発令を判断するかは非常に難しい。

（委員）

- ・ 今回の浸水では多摩川の水位上昇の影響が大きく、発令の判断において、どのくらい水位が上がるかが重要になる。現在、多摩川の田園調布（上）の水位で判断しているが、前もって予期するという意味では、上流側の水位も確認した方が良い。

（事務局）

- ・ 玉堤地区は区境に位置しているため、避難勧告等の発令の際は隣接する大田区と連携していきたい。

（委員）

- ・ 発令の判断基準は、地域防災計画に位置づけられるものであり、防災会議等で関係者が集まった中で決める必要がある。

（委員）

- ・ 逆流の確認手法の導入に向けては、試行となるが、等々力排水樋門で設置済みの川表側に加え、川裏側に水位計と流速計を設置する予定である。

【最終報告】

（委員）

- ・ 上野毛・野毛地区は、シミュレーションでは17時頃に浸水発生となっているが、実際は15時頃に浸水が発生していたという報告もあり、実現象との違いがあることの注釈を入れないと誤解を招く可能性がある。

（委員）

- ・ 最大浸水深に対する浸水量は、メッシュの最大浸水量によるもので、各メッシュで時間のずれがあり、ピーク時の浸水量とは異なるため、その旨の注釈が必要である。

（委員）

- ・ シミュレーションにより時系列の浸水状況は分かるが、実現象とシミュレーション結果を踏まえた浸水被害発生メカニズムとしては、どういう要因で、どのように浸水が起こったか、浸水状況の説明があるとより分かりやすい。

(委員)

- ・シミュレーションは、条件設定やモデル構築の仕方で結果が変わる可能性があり、区としてどういう条件で実施したかは説明が必要である。

以 上